

何か、間違っていないですか

ある新聞に、「何か、間違っていないですか」と題して、次のような記事が載っていました。子育てにあたり示唆に富んだ内容でしたので紹介します。

「水族館に行った時のことです。ひと通り見て回り、身も心も久しぶりに！ レッシュ。
ふと見ると、野球場の観覧席のような憩う座席があったので、ひと休みし グロが回遊
するのを見ていました。

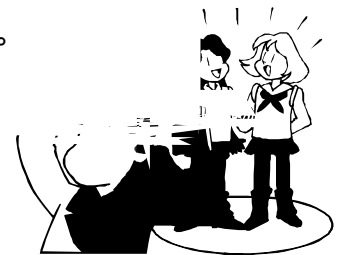
下の段に、母親と子ども3人が席に着きました。子どもたちは、すぐに を得た魚の
ように、座席の前を走り空いている席を土足のまま踏み、跳び、騒ぎ始め た。いつま
でたってもやめません。私の前へ勢いよく走ってきた子に『ここは、皆 だり、お魚
を見たりするところよ、静かにしようね。』と、やさしく言うと静かに った。

気がつけばまた騒いでいます。今度はお母さんが、子どもを捕まえたい 意するのだ
らうと思ったら『またあのおばさんがうるさいって怒るわよ、ばか』と頭 ッ……。
私は、今までの安らぎも楽しい気持ちもいっぺんに吹き飛ばしてしまい お母さん何
か、間違っていないですか……。』

さて、これと似たような場面に出合うことが、決して少なくありま かし、まわ
りにいる人の迷惑を考えないで、動き回ったり騒いだりしている我が するのは、
親の務めであり、他人から言われてするものではないと考えます。

大人も子どもも規範意識が低くなったと言われる昨今です。

親自身が、ル-ルに反することをしないで、いけないこと
はいけないと、毅然とした態度で、子どもに教えることがで
きる親であってほしいものです。



【楽しかった遠足】 - 服部緑地公園に行きました -

9月29日、1、2年生が、服部緑地公園に遠足に行きました。服部緑地公園に着くと、
まず、林の中で、どんぐりやまつぼっくりなどを拾いました。最初は、なかなか見つける

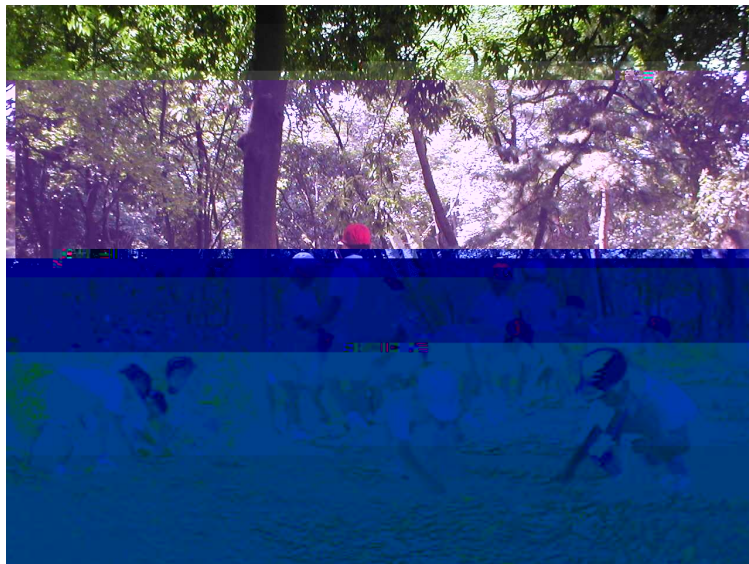
ことができなかつた子どもたちも、しばらくすると要領が分かり、枯れ葉の中に隠れているどんぐりやまつぼっくりなどを持ってきたビニル袋に一杯集めていました。

次に、服部緑地公園内に設置されている「子どもの楽園」で、いろいろな遊具を使って楽しく遊びました。子どもたちの様子を見ていると、順番をきちんと守り仲良く遊んでおり、マナ - が守られていることに感心させられました。

子どもたちに遊具で遊んだ感想を聞くと「スピードの出る滑り台で遊んだのがおもしろかった。」「ロ - プ - ウェイのスピードがはやくおもしろかった。」など満足そうに話をしてくれました。

十分遊んだ後は、子どもたちが楽しみにしているお弁当の時間です。どの子どもも仲良くグル - プになって楽しそうに話をしながら食べました。昼食後は、また、少しだけ遊具で遊ぶことができ、1、2

年の子どもたちにとっては、好天気の下、秋を感じ、思いきり体を動かし楽しんだ一日となりました。



【ニッセイ名作劇場】 - 6年生が観劇 -

9月28日に、6年生が、厚生年金会館で公演されている「ジョン万次郎の夢」（ニッセイ名作劇場 / 子どものためのミュージカル・プレイ）を観劇に行きました。さて、このニッセイ名作劇場は、「次世代を担う子どもたちが夢と希望をもち、情操豊かに育てほしい」という願いと、「子どもの頃に受けた本物の感動は、その人の将来にきっと役立つ」という考えで、設立された事業で、今年で43年目を迎えます。最初は、東京だけの公演でしたが、現在は全国11都市で開催されています。本校では、2年に一回、6年生が観劇する機会を得ています。

当日、舞台一杯に繰り広げられるミュージカルを観劇した子どもたちは、出演者の方々の演技のうまさ、また、舞台装置や照明、音響の工夫など、本物にふれるすばらしさを感じてくれたことと思います。

小学校生活の思い出に残るすばらしい一時を過ごすことができました。